

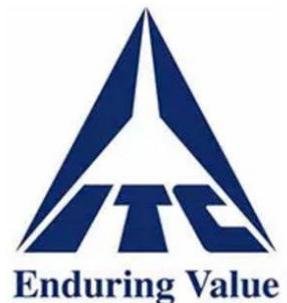
2024年3月7日

**インド国内インスタント麺市場シェア第2位の ITC から  
製麺用の真空押出機を受注  
当社食品機械事業におけるインド初の実績**

株式会社ソディックは、インドのコングロマリット「ITC Limited ホールディングス」（西ベンガル州コルカタ市 以下 ITC）から、インスタント麺用の真空押出機を受注いたしました。これは当社食品機械事業におけるインドでの初の実績となります。

今回、納入する真空押出機は、ITC の既存インスタント麺商品の品質改善用設備であり、この設備により新たな製法を検討・確立した後、生産ラインに量産機が本格的に導入される予定です。ソディックの真空押出機は、高圧力で生地成形を行うことにより高密度な麺帯が作れる製麺装置で、生パスタ、雑穀麺、十割蕎麦、米麺、低グルテン、ノングルテンなど幅広い需要に対応しています。受注にあたっては、昨年、ITC の担当者が当社に来社され、製麺機械の見学や試作を実施。加えてソディックの国内および海外での納入・稼働実績、企業規模やサポート体制など食品機械メーカーとしての総合力を高く評価いただき、将来的な新しいビジネスパートナーとして信頼を獲得したことで今回の契約に至りました。今回の契約をきっかけとして、インスタント麺用だけではなく、当社が持っているノウハウと技術を生かして、ITC と新しい技術の開発と一緒に進めます。

受注先である ITC は、1910 年に国営のタバコメーカーであるインペリアルタバコ・カンパニーとして発足後、のちに民営化されました。事業形態は幅広く、日用消耗品、ホテル経営、包装&紙製品、農業ビジネスの4つの部門で構成されています。日用消耗品に属する食品事業では、チョコレートやビスケットといった菓子類、麺&パスタ、コーヒーで自社ブランドを展開しています。インドのインスタント麺市場では、ITC はネスレに次ぐ第2位の市場シェアを占めています。2023年3月決算における売上高は6948.1億ルピー(1.2兆円)、食品事業の売上高は全体の約20%~25%(約3,000億円)となっています。



当社では ITC の納入実績を足がかりに、今後インドの食品機械市場を積極的に開拓していく計画です。

■受注した「真空押出機」と ITS のインスタント麺商品（イメージ）



1/2



## ■ソディックの「真空押出機」の特長

### \* 真空押出（230 幅）成形

真空を引きながら麺帯をつくるので、密度の高い生地ができる。

### \* チップ成形

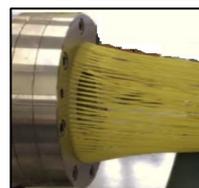
高密度のチップ成形出しもできるので、従来の製麺ラインを使った製麺にも対応。

### \* 用途に合わせた麺帯成形

素材に応じた麺帯成形ができるので、多用途に使用可能。

### \* 省スペース

複合機、連続圧延機などを省くことができ、省スペース。



## ■インド「ITC Limited ホールディングス」の概要

本社：インド 西ベンガル州コルコタ市

設立年：1910 年

事業分野：日用消耗品（食品を含む）、ホテル経営、包装&紙製品、農業ビジネスの 4 つの部門で構成

年間売上高：2023 年 3 月期 6948.1 億ルピー（1.2 兆円）

ホームページ <https://www.itcportal.com/>

## ■インドにおけるインスタント麺市場

世界のインスタント麺（カップ麺+袋麺）の消費量は 2014 年頃にいったん頭打ちをした後、再び右肩上がりの成長を続け、特にコロナ禍の影響で 2020 年以降伸びが加速。2022 年には 1,212 億食と過去最高記録を更新（世界ラーメン協会 <https://instantnoodles.org> 調べ）しており、東アジアはもとより近年は特にインドや南米、欧州での成長が著しい。

インドの主食は、お米（インディカ米）や小麦で作るナン等が中心で麺文化はほとんどなかったが、海外の食品メーカーがインドの消費者の嗜好に合うインスタント麺を開発するなかで徐々に受け入れられ始め、インドのインスタント麺の市場規模は、現在の 18.4 億米ドルから 2028 年には 34.9 億米ドルにまで成長すると予測されている。